



新教出版社 出版通信

2017年
2月

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 Fax: 03-3260-6198
ホームページ: <http://www.shinkyo-pb.com>



旅する教会

1月25日発売

再洗礼派と宗教改革

永本哲也・早川朝子・猪刈由紀・山本大丙〔編〕

◆四六判・並製・300頁・本体2800円

もうひとつの改革運動

信仰と教会の本質を問う

再洗礼派（アナバプテスト）は幼児洗礼を否定し信仰洗礼のみを主張するなど、ラディカルな立場のゆえに宗教改革主流派から徹底的に弾圧され、安住の地を求めて世界を旅する教会となった。

しかし彼らの信仰理解、教会形成、ライフスタイル、社会実践は、貴重な遺産を残している。

宗教改革500年の年、もう一つの重要な改革運動の全容を明らかにした、若手研究者たちの共同執筆。

〔目次より〕

第1部 再洗礼派の誕生と受難

- 1 偽りの教えを説く悪魔
- 2 ルターから逸脱する改革者たち
- 3 ツヴィングリの先を行く
- 4 1528年の聖霊降臨祭に世界は終末を迎える
- 5 財産のいつさいを共同体に供出する
- 6 地上に降り立った新しきエルサレム
- 7 心靈主義とメノール派の形成
- 8 忌避と破門をめぐる戦い
- 9 ジャン・カルヴァンと改革派の再洗礼派観

第2部 再洗礼派の諸相

- 1 「使徒的生活」を目指す改革者たち
- 2 メディアのなかの再洗礼派
- 3 緩やかに根づくネットワーク
- 4 イタリアのラディカルたち
- 5 信仰者のバプテスマのみを認める「アウスプント」
- 6 「殉教者の鑑」
- 7 「殉教者の鑑」

第3部 近代化する社会を生きる再洗礼派

- 1 「宗派化」の時代を生き抜く宗教的少数派
- 2 「忌避」に同意しない者は破門する
- 3 近世から近代を生き抜くメノール派
- 4 フッター派の500年
- 5 真の信仰は決して強制され得ない
- 6 自由な社会の市民として生きる
- 7 伝統の保持、「世界」への適応
- 8 世界に広がる再洗礼派
- 9 戦後に生まれた再洗礼派教会

再洗礼派関連略年表

天国から締め出されたローマ法王の話

エラスムス著 木ノ脇悦郎編訳

エラスムスの代表作。法王が天国の門番ペテロに阻まれ天国に入れてもらえないという風刺物語。エラスムス研究第一人者による解説・解題付き。本体 2300 円

キリスト教綱要 改訳版 全3巻

渡辺信夫訳

プロテスタント最初の組織神学と呼ばれる必読の古典が、40年ぶりの改訳により驚くほど明快・流麗な文体で蘇る。

本体各 4500 円

初期カルヴァンの政治思想

田上雅徳著

人文主義者として知的生涯を開始したカルヴァンが福音主義へと回心する過程で、政治の見方をどう変化させたのかを辿った画期的な研究の成果。本体 3000 円

カルヴァン 歴史を生きた改革者

1509-1564

B. コットレ著 出村 彰訳

膨大な資料を駆使し、その思想を正確に描き出し、宗教改革のみならずそれ以降の西欧世界に影響を与えた人物の存在を浮き彫りにした本格評伝。本体 5900 円

カルヴァン 霊も魂も体も

宗教改革論集 1 出村 彰著

わが国の宗教改革史研究を牽引してきた著者の、単行本未収録重要論考を全3巻に集成。本巻はカルヴァンへの歴史神学的アプローチを試みる。本体 5000 円

ツヴィングリ 改革派教会の遺産と負債

宗教改革論集 2 出村 彰著

スイス宗教改革の先蹤者の生涯と思想に光を当て、その後の受容と影響作用史に及ぶ。また契約神学、再洗礼派に関する貴重な論考を収録。本体 5000 円

ツヴィングリの人と神学

F. ビュッサー著 森田安一訳

都市宗教改革の先駆者、ツヴィングリの生涯と思想を再評価し、教会と社会の預言者的な改革者としての歴史的意味を明らかにした画期的研究。本体 1800 円

ウィクリフ 宗教改革の暁の星

E. ロバートソン著 土屋澄男訳

教会の専制的支配に直面し、教会の誤謬を大胆に批判しながら聖書の英訳を果たした宗教改革の先駆けとも呼ばれるウィクリフを丹念に描く。本体 1800 円

ブツァーとカルヴァン

付 1537 年信仰問答〈大森講座 11〉

芳賀繁浩著

カルヴァンとともに宗教改革の展開に多大な足跡を残した独自の改革者ブツァーの神学に〈信仰問答〉〈教会訓練〉の視点から迫った意欲作。本体 1300 円

宗教改革の神学 〈オンデマンド〉

北森嘉蔵著

第1部「ルター的神学」、第2部「カルヴァンの神学」、第3部「教義学方法論」。歴史神学を媒介した組織神学の試みに著者の創見が満ちている。本体 4400 円 -

プロテスタント・スコラ神学の再考察

〈大森講座 23〉 金 山徳著

スコットランドの神学者サムエル・ラザフォードの思想を中心に、プロテスタント・スコラ神学と正統主義神学の再評価を試みる貴重な労作。本体 1100 円

神学の起源 社会における機能

深井智朗著

神学とは何かという問いに社会史的視点から応える。時代の転換期に神学はいかなる機能を果たしたのか。読者の神学観を一変させる神学入門。本体 1800 円

本ノ脇悦郎著

宗教改革の人間群像

エラスムスと
文通者たち

『痴愚神礼讃』を著し、新約聖書のギリシャ語本文を初めて校訂し、宗教改革運動に寄与したが、自由意志論をめぐるルターと対立、後に改革陣営から絶縁された16世紀最大の人文主義者。彼はまた偉大な文通者でもあった。書簡から浮かび上がる改革者たちの人間群像。

◆四六判・予価3000円

フェイス・パウアーズ著／片山寛・加藤英治訳

知的障害者と教会

(仮題)

ハンディキャップを持つ人々と共に歩む教会はどうあるべきか。伝道、信仰告白、教会教育、礼拝の持ち方などを具体的に考える。著者はダウン症をもつ息子之母であり、ロンドンにあるバプテスト教会の信徒。

◆四六判・予価2000円

イヴリン・アンダーヒル著／金子麻里訳

内なる生活について

(仮題)

国教会の司祭たちのために語った3つの講話。多忙な牧師たちの魂のケアについて、また祈りと冥想、愛と奉仕について、平易で透徹した言葉で語りかける。原書は1927年刊行。

◆小B6・予価1800円

● 12月に出た本と雑誌

希望の倫理

ユルゲン・モルトマン著、福嶋揚訳



モルトマン神学の中核に位置する変革的終末論の全面展開。現代世界を脅かす様々な難問に立ち向かう大綱的な行動指針を導き出すとともに、究極的な平和と安息のヴィジョンを提示する。

◆四六判・本体4000円

〔重版出来〕

影の国に別れを告げて

C.S.ルイスの二一章 中村妙子訳



ルイスの数多くの文章から信仰論を精選し、1日1章形式で配列。中村妙子氏の達意の翻訳で贈る。新たな1年を聖想と共に歩むために。ルイスの世界への道案内にも。

◆四六判・本体4500円

福音と世界

◆税込635円

1月号―特集 信徒と教職

宗教改革500年 ①

寄稿者：江藤直純、有村浩一、川向肇、袴田康裕、李恩子、山森みか、村山盛葦、柳川朋毅、芦名定道、望月麻生、内田樹、佐藤優、辻学、月本昭男、吉松純ほか

●2016年1月〜12月の新刊は以下の26点でした（刊行順）。

▼13歳にもわかるキリスト教（美濃部信）▼日本のプロテスタンティズムの政治思想（柳父園近）▼戒規か対話か（北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編）▼インクルーシブ神学への道（鈴木文治）▼雪に閉ざされて（ホイッティア）▼私のごすべるくろにくる（沢知恵）▼「十字架につけられ給ひしままなるキリスト」（青野太潮）▼人が神にならないために（荒井献）▼エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本 増補改訂版（ダフ）▼使徒行伝 下巻（荒井献）▼自由意志論（エドワーズ）▼パウロ小書簡の神学（ドンフリード、マーシャル）▼教会と戦争（川端純四郎）▼信じることをためらっている人へ（岡野昌雄）▼あなたはヨブと出会ったか（今井敬隆）▼キリストが主だから（山口陽一・朝岡勝）▼権利論（スタイナー）▼日本国を建てるもの（梅津順二）▼ソクラテスの死とキリストの死（クラッパート）▼ローマの信徒への手紙 上巻（原口尚彰）▼ロゴセラピーのエッセンス（フランクフル）▼島の小さな教会（多摩美

術大学環境デザイン学科編著）▼合同教会の「法」を問う（北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編）▼人生を聖書と共に（ボウカムほか）▼十字軍とイスラーム世界（スターク）▼希望の倫理（モルトマン）。右のうち青野先生と荒井先生の説教集はかつてコイノニア社から刊行された書物の、また岡野先生はアスキー新書の復刊です。そのほか『基督教の起源』（山谷省吾）を上下巻合本としてオンデマンド復刊しました。

●今年には宗教改革500年を記念し、その意義を検証する企画を予定していることはもちろんですが、それだけでなく、キリスト教と現代の課題に広い視点から挑戦する企画にも注力を怠らないつもりです。また古典的な作品の翻訳紹介にも従前通り取り組んで参ります。どうぞご期待下さい。

●17年の最初にお届けするのは『旅する教会——再洗礼派と宗教改革』です。『福音と世界』の連載を大幅に加筆修正して単行本化します。若手・中堅の研究者9人の、有機的に組み立てられた共同執筆であり、再洗礼派への多角的なアプローチは類書がありません。

福音と世界

2017年

2

A5判・80頁・定価635円・送料70円
年間予約購読料（送料共）8460円

特集・義とは何か——宗教改革500年②

ルターの信仰義認論

——「隠された神」との関連で

新約聖書の「義認」

旧約聖書と義

「信仰義認」とジェンター正義

——宗教改革によって変わらなかったものを問う

信仰告白のかたち

——多くの頭を押さえるその手を引く

——不正義から正義へ

インタビュー グローバリゼーションと

キリスト教の課題……B・クラッパート

古代の友情論——友情から隣人愛へ

【連載より】

◆みことば散歩 2

◆現代神学の冒険 5

◆新約釈義 第一テモテ書 12

◆レヴィナスの時間論 23

◆ことばの履歴書 35

◆聖書とわたし 13

望月麻生
芦名定道
辻 学
内田 樹
佐藤 優
奥田愛基

竹原創一
吉田 忍
池田 裕

吉谷かおる
島しづ子
林 巖雄

月本昭男